

(様式)

令和4年2月21日

狭山市教育委員会
教育長 向野 康雄 様

狭山市立中央中学校
校長 中村洋一郎

令和3年度 狭山市立中央中学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。 (90%以上)
- B : 概ねできている。 (85%以上)
- C : あまりできていない。 (70%以上)
- D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・職員会議や毎期の職集で折に触れて校長・教頭から教職員に指導しています。教職員はほぼ全員理解しています。保護者アンケート「学校は教育方針を伝えている」の項目は93.5%で、昨年度より0.3ポイントアップしました。	・学校運営は安定していると感じる。公立学校なので、当たり前なのが当たり前のようにできることの大切さを保護者も感じてほしい。 ・学校長のリーダーシップの下、教職員の共通理解、共通行動が実践されていて、明るい雰囲気に包まれた学校になっている。無言清掃はその目的と主旨を理解し、心の教育としての側面を果たすためには時間がかかるが、中央中の新たな伝統としてほしい。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	学校生活に関するアンケート(生徒用)では94%の生徒が、「学校は自分たちを成長させてくれている」と答えています。保護者は90%が「生徒は学校生活に満足している」と答えています。	・無言清掃については導入して4年目、おしゃべりせず、黙々と清掃することで心が落ち着くのではと感じる。どの先生方も同じ方向を向いて指導されているのは素晴らしいことである。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	学校評価(教職員自己評価)では96%の教員が共通理解・共通行動がとれていると回答しています。	・トイレが改修され、とてもきれいになったことに感謝している。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	無言清掃に取り組んで4年目です。3年生の清掃に対する取り組みは他学年の範となつています。この取り組みを全学年で充実させ、中央中の新たな伝統としたいと思えます。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	限られた予算の範囲内で優先順位をつけて修繕・改修をしています。「常を疑え」をモットーに生徒の目線で、安全・安心な学校づくりに努めています。	
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	コロナ禍で授業に制約がかかる中、学校生活に関するアンケート(生徒用)では「授業は分かりやすく、学力が身につけている」の項目で、肯定的な評価が80%に満たない教科がありました。	・様々なレベルの生徒に対応しなくてはならない公立中学校の枠組みからのご苦労があると思われる。個人的には少なくとも中学レベルでの学習に対する責任は保護者にあると思っている。その点について保護者の理解が進むと先生方の負担が減るものと思われる。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	校長の教室訪問もほぼ毎日行われています。若い教員が増加し、授業規律の徹底、授業の進め方等、基本的事項を管理職からの指導や学年で連携して改善を図っています。	・12月の授業参観の様子を拝見したが、どのクラスも落ち着いた学習態度であった。
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	B	県学力学習状況調査の結果から、全学年学力レベルは県、狭山市とほぼ同様な結果となり、昨年度から+1~+4の伸びが見られました。	・GIGAスクール構想により、タブレットが導入されている。以前であれば学校を欠席するとプリントでの対応だったが、自宅からリモート授業に参加できることは素晴らしいと思う。
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	A	PTA家庭教育奨励費からの家庭学習ノート無償配布により、充実した家庭学習が行っている生徒が増えています。家庭学習の習慣が身につけていない生徒への働きかけが課題です。	・IT活用に戸惑いもあるかと思う。基本は教員の授業力であることを常に念頭に、学力向上の前提は学習に対する興味関心を持つこと、好奇心・探求心の持続化を大切に
	10	児童は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A	指導力を備えたALTを有効活用した授業が積極的に行われています。英検受験者も増えています。	
規律ある態	11	児童は、進んであいさつをしている。	A	相手の目を見て挨拶ができる、と来校者や地域の方々からお褒めの言葉を頂いています。さらに大きな声であいさつができるように指導を充実させます。	・学校に行くたびに挨拶のすばらしさを感じている。 ・校内を案内されたとき、生徒の挨拶等の対応に感心した。とても良い印象を持っている。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	A	言葉遣いの改善が徐々にみられます。入学当初は慣れあいの言葉遣いがみられますが、学年が上がるにつれて場に応じた言葉遣いができるようになっています。	・挨拶、言葉等、人が生きていく上で大切なことと捉えられていることが生徒の様子を見て感じられる。日々の先生方のご指導に感謝している。欲を言うと先生方のドレコードにはやや不安を感じる。ぜひ、理想の社会人、大人として生徒たちから尊敬される
	13	児童は、時間を守って生活している。	A	チャイムが鳴り終わる前に着席しています。時間通りに授業や朝会が開始できています。遅刻はほぼありません。今後も時間を守ることを徹底していきます。	

度	14	児童は、きまりを守って生活している。	A	大きな問題行動はほとんどありません。教職員は生徒の少しの変化も見逃すことがないように、アンテナを高くしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・仔仕になつていいにささい。 ・中央中生はみんな道徳心が高く、道徳教育が充実していることと表れを感じる。
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	下校指導、清掃指導等すべての教師であたっています。授業のチャイムより前に教室に行きます。教師は率先垂範して手本を示しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・見かける中央中生は制服、ジャージをちゃんと着こなし、だらしない生徒は見かけない。一人一人しっかり意識していると感じる。
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	A	体育科を中心に体力向上に取り組んでいます。コロナ禍で、部活動も制約が多い中、真面目に取り組む生徒が多いです。熱心な教師の指導の下、今後の大会等での好成績が期待されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ陽性者発生時の学級閉鎖、学年閉鎖等の対応の素早さは素晴らしい。日々の健康観察の対応(検温忘れ等の生徒保護者への確認)も大変だと思うが、丁寧な対応に感謝している。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	体育については96%の生徒が授業を楽しく取り組んでいます。保健学習や命の学習、食育についても計画的に実施されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染予防の意識が高く、インフルエンザ等にもかからない予防対策が取られている。
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	A	昨年度に引き続き、コロナ感染症による偏見、差別防止の学級活動を全クラスで行いました。保健委員による換気等感染予防の活動も行われています。また、性教育など健康や保健に関する学習も計画的に行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力も生活も健康な体があつてこそ。引き続き体力向上、健康教育にご尽力いただきたい。
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	学校だよりや学年だよりは定期的に発行されています。今年度も、新型コロナウイルス感染防止に関する情報を随時ホームページにアップする他「スクリーン」によるデジタル配信も行いました。学級通信により、生徒の学校での様子を家庭に伝える教職員が多くなりましたが、保護者に渡していない生徒もいるようです。	<ul style="list-style-type: none"> ・紙でのお便りとデジタル配信により、家庭によっては今まで以上に学校の様子がわかるようになったのではないかと。 ・地域との連携についての事業がほとんど中止となっている。来年度の役員に申し送りをしっかり行い、活動再開に向けての準備が必要である。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B	PTA、くすの樹会、学校応援団などの団体が積極的に学校に関わってくれています。昨年度に続き、新型コロナの影響で、共同で行う事業がほとんど中止となりました。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりを拝見すると校長先生の学校や生徒に対する思い、願いが文面から伝わってくる。今後も地域住民の一人として応援していきたい。